

「若年者の他覚的調節力と瞳孔機能」に対する ご協力のお願い

研究責任者 根岸 一乃
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 眼科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

この研究を実施することによる、あなたの新たな負担は一切ありません。またあなたのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨を「9 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

本学の眼科臨床実習にて視機能検査をおこなった医学部生が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20241097

研究課題名 若年者の他覚的調節力と瞳孔機能

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学 医学部眼科学教室

研究責任者

教授 根岸一乃

4 本研究の目的、方法

眼のピントを合わせる機能のことを調節といいます。これは主として毛様体筋の働きによって水晶体の形状をかえることにより、屈折力を変化させて網膜に鮮明な像を結ぶ機能ですが、その詳細なメカニズムは解明されていません。調節力は年齢とともに低下していきませんが、近年、瞳孔の機能も関連していることが分かってきました。

本研究ではとくに若年者の調節力と瞳孔機能の関連について調べることで、調節についての新たな知見を得たいと考えています。

眼科実習の際に全員がおこなっている視機能検査のデータを利用しますので、新たな検査をするために来ていただく必要はありません。

5 協力をお願いする内容

眼科実習でおこなった検査のうち、年齢、性別、視力、屈折、調節力、瞳孔径のデータを利用します。データ利用を拒否しても成績評価や進級等には影響しません。データ利用を拒否されたい方は 9 お問い合わせ先までご連絡をお願いします。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2028 年 03 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

8 将来の別研究への利用の可能性

本研究のデータは、将来さらに別の研究のために利用する可能性があります。その際、個人を識別できない状態に管理されているデータを利用します。データを利用して将来新たに別の研究を行なう場合は、改めて医学部倫理委員会に倫理審査申請を行います。

9 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

氏名：根岸 一乃

所属：眼科学教室 職名：教授

住所：東京都新宿区信濃町 35

電話番号：03-5363-3821（直通）（内線：62402）（平日 9：00～17：00）

E-mail アドレス：kazunonegishi@keio.jp

以上